



ドイツ証券株式会社、貸付債権担保 S 種第 2 回住宅金融支援機構債券で共同主幹事

【2007 年 6 月 25 日、東京】ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区）は、本日、独立行政法人住宅金融支援機構による総額 2,000 億円の貸付債権担保 S 種第 2 回住宅金融支援機構債券（以下、RMBS）発行で、大和証券エスエムビーシー株式会社、みずほ証券株式会社とともに共同主幹事を務め、本債券の条件を決定した旨を公表しました。本案件は、ドイツ証券株式会社が、本年 4 月の住宅金融支援機構設立後の同機構 RMBS 発行において主幹事を務めた初めての案件となります。

この度の RMBS は、発行額は 2,000 億円、表面利率 2.27%、発行価格は 100 円、最終償還日は 2037 年 11 月 10 日です。また、払込期日は 2007 年 7 月 5 日で、利払日は 2007 年 8 月 10 日を第 1 回として毎月 10 日となっています。

本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）およびスタンダード&プアーズ（S&P）からそれぞれ AAA（トリプル A）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社の取締役兼グローバル・マーケット統括本部長のヘンリー・リショットは、「当社は、住宅金融公庫の RMBS 起債で過去 8 回にわたり主幹事を務めてまいりましたが、この度、同公庫の独立行政法人住宅金融支援機構への移行後に発行される RMBS として、明日条件決定予定の月次第 3 回 RMBS と並び S 種第 2 回 RMBS の起債に係る主幹事を務めることとなり、大変嬉しく思います。今回債は、良好な市場環境の中での大型起債となりましたが、当社を含めた主幹事証券会社が協力して市場重視の起債運営にあたったことが奏効し、投資家の皆さまから強い需要を得ることができました。当社は、住宅ローン証券化市場において最大の実績をもつ住宅金融支援機構による RMBS 発行を支援できたことを大変光栄に思っています」と述べています。

さらにリショットは、「ドイツ証券株式会社は、住宅ローンのみならず各種金銭債権や商業用不動産そして近年注目される事業の証券化など、証券化ビジネス全般に力を注いでいます。今後も、高い案件組成能力、販売力そしてリサーチ力に裏付けされた専門性と総合力を発揮することで、日本の顧客企業の皆さまの証券化に関する多様なニーズにお応えしたいと思います」と話しています。

以上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は 7 万 3,114 人にのぼり、世界 75 カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては 1,201 名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部 www.db.com/japan